

総合報道

発行所
株式会社総合報道
本社(郵便番号)169-0075
東京都新宿区高田馬場2-13-8
電話(03)5287-1255
(発行日)5・15・25日



(18)

環境適応業を志向する

㈱デザインラボ 代表取締役社長

荻谷 伊氏

「刻々と変化する時代に、柔軟に対応していく」。㈱デザインラボ(岐阜県各務原市川島小網町)代表取締役社長・荻谷 伊氏の経営哲学である。

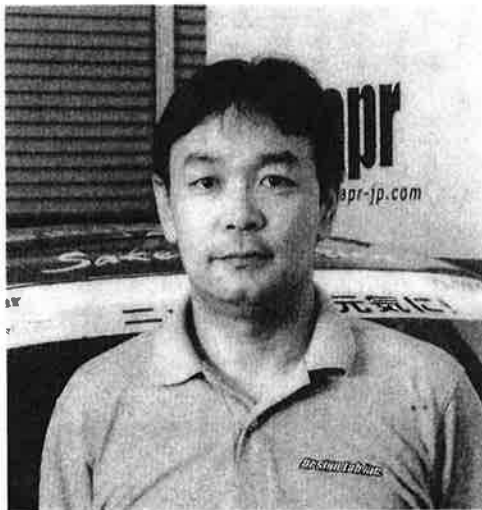
同社は1987年、サイン業務全般を請け負う「荻谷看板サービス」として、実父・故克彦氏(前会長)が創業。95年法人化、2004年に現社名となる。

荻谷氏は91年の入社。20歳で、サイン業界へのデビューを果たす。「美術と技術は、幼少の頃から得意科目。これらに通じるサインデザイン・製作は、常々面白い仕事だな」と関心を持っていました。

90年、岐阜県下では早期の段階でカッティングマシンを導入。しかし、当時の業界は手書き職人の全盛。満足にシートが貼れる人材は少なかった。

「サイン製作も塗装から貼りへ、まさに変遷期でした。幸い私は手先が器用だったもので、入社早々から貼りの施工に特化、トラックの

コルゲートボディやシャッターなどのシート加工にも積極的にチャレンジしていきましました」。



岐阜県出身。1969年生まれのB型。趣味のカーレースは、かなりの本格化。年3回は公道のサーキットにエントリーするという。公私ともに充実の日々を送る。

の拡大を図りました。父、私ともに「クルマ好き」ということもありましたね(笑)」。

07年、車体装飾の独立部隊として「PPF(ペイントプロテクトシヨフィルム)事業部」をスタート。国産車、高級輸入車、シヨーカー、企業用プロモーションカー、カスタムカー、レーシングカー、痛車などを次々と手掛けることに。付加

04年、社長に就任。不況の最中、新たに事業の柱を据える必要性にも迫られた。業界内での価格競争が過熱。サインデザイン製作にかつてほどの魅力がなくなってきたともいう。

サービスとして、厳選した材料と工具を販売する国内初のラッピング専門ネットショップなども開設した。「高級輸入車のフルラッピングが当社の十八番ではあります。この業務で大切なのはお客様とのコミュニケーション。必ず現場に出向き、細部に亘るまで必要を聞くように心掛けています」。

「この1、2年、車体装飾ブームに火が点いた感もあります。反面、安かろう悪かろうの事業者が増えてきていることに対して、憂慮もしています。お客様に提供するものは、あくまでもスタンダード。車体装飾に限らず、サイン業務全般に使えることです。メディアメーカーの方々からも、信頼できるしつかりとした情報を得られるよう連携を高めていけたらと思います」。

「まずは、日本の伝統文化を大切に。その上で、自社が所有する技術の可能性を追求する。それぞれの時代において、いかにベストの力を発揮していくか。標榜するのは『環境適応業』。これを志向する集団であり続けたいですね」。さらなる成長へ、サイン業界の半歩、一歩先の未来を常に見据える。(一)

好きな言葉は、聖徳太子の「和をもって尊しとなす」。経営は「顧客」サービス「企業」利益「個人」生活の三位一体として、捉えていくというのが持論。